



# 教科会からのアドバイス

まず は	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習場所は集中してできる場所に固定し、学習場所の整理整頓を心がけよう。</li> <li>②正しい姿勢で行い、字は丁寧に書くように心がけよう。</li> <li>③休憩を入れよう。例えば、授業と同じように50分取り組んで、10分休憩。</li> <li>④2・3年生は「3点固定」「時間の確保」の段階から、「質と内容」を高める段階へ進む努力をしよう。</li> </ul>
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>①何度も教科書を音読しよう。</li> <li>②わかりにくい言葉の意味は、辞書で調べよう。調べたらマークしたり、付箋を貼ったりしよう。</li> <li>③漢字練習を丁寧にしよう。</li> <li>④新聞記事をノートに貼り、感想を書いたりタイトルをつけたりしてみよう。</li> <li>⑤新聞や図書館などの本を読み、長文に慣れよう。</li> <li>⑥文法があった日は、ノートを見返そう。さらに問題をやると学習効果は倍増です。</li> <li>⑦漢字検定に積極的に挑戦しよう。</li> </ul>
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科書を読み、太字の単語を書き出し、意味などと併せて覚えよう。</li> <li>②資料や図に必ず目を通し、読み取る力をつけよう。</li> <li>③授業で扱っている内容に関係するようなテレビ番組を見るようにしよう。</li> <li>④新聞を読んだりニュースを見たりして、社会（世の中）の動きを知ろう。</li> <li>⑤問題集を何度も繰り返し、多くの問題に取り組もう。</li> </ul>
数 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>①分からないことをそのままにしておかない。必ず、先生や分かる友だちに聞こう。</li> <li>②答えがあっていればいいのではなく、方法や解き方を覚えよう。</li> <li>③計算問題は必ず毎日20分は行い、より多くの問題をこなし、速さと正確さを身につけよう。</li> <li>④文章問題に積極的に向かい、文章問題に慣れよう。</li> <li>⑤とにかく、より多くの問題をこなそう。</li> <li>⑥数学の学習効果は、本気で始めてから2ヶ月はかかります。あきらめないことです。</li> <li>⑦数学検定に積極的に挑戦しよう。</li> <li>⑧5分でもいいので予習してくると、学習効果はかなりUPします。</li> </ul>
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>①理科の授業があった日は、授業を記録したノートに、タイトルと要約文をやり、お家の方のサインをもらおう。</li> <li>②教科書に太字で書いてある用語については、必ず覚えよう。意味も説明できるようにしよう。</li> <li>③計算問題については、解き方や単位を理解し、同じ問題を繰り返し解き、パターンを理解しよう。</li> <li>④文章問題は、実験の内容や意味を理解できるように丁寧に読んで、ポイントをおさえてから、問題を解いていこう。</li> <li>⑤理科の授業で学習したことが生活の中でどう生かされているか考えることも大事。ニュースの中から科学に関する話題を探してみたり、学習した内容をおうちの方と話したりして実生活との関連を探していこう。</li> </ul>
英 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>①復習として、授業で学んだページの新出単語を日本語の意味をつけて繰り返し書こう。</li> <li>②予習として、次の授業で扱うページの新出単語の意味を調べよう。訳せなかった部分に印を付け、その部分に注意して授業を受けるとより理解が深まります。</li> <li>③基本本文を繰り返し書こう。常に、日本語から英語、英語から日本語の両方をかけるようにしましょう。</li> <li>④教科書の本文を練習し書けるようにしよう。日本語訳をみて英文が書けることが理想です。</li> <li>⑤大切な熟語も書いて覚えよう。</li> <li>⑥英語を書くときは、常に声に出して書くようにしよう。目・手・口・耳で覚えるなど、五感を使って覚えるのが効果的です。</li> </ul>